

事業所名	柳川療育センター（児童発達支援）		公表日	令和7年3月末日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	3	充分なスペースがあり、活用出来ている。目移りしないようおもちゃなど置かない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	8	3	毎朝打ち合わせを行い、子ども達の安全に活動できるように配置している。状況に合わせ、作業・事務処理もできている。職員を増員し、痛痛時の対応やただの見守りならず、1人1人の特性に合わせた関わりが少しずつできている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	絵カードのスケジュールや事前に伝える見通しがもてるような工夫をしている。段差もなく、転倒防止することが出来る。廊の高さや窓枠が子ども達の登りやすい所になっていて危険。子どもが開けやすい引き戸があったりと危険な箇所がある。生活空間には壁面等多くは飾らず、必要最低限のものを置くようになっている。（身支度や活動時にならないように）今何をすべきか視覚支援が充実しているためわかりやすい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	最低限の被褥・掲示で刺激が少ない。空調もしっかりしていて過ごしやすい。朝・夕の清掃・消毒を丁寧にやっている。子どもたちが降園したあとは、掃除、遊具の消毒・確認を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	クラス内での1日の振り返りを実施・次に繋げている。前期・後期の目標や振り返りがある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	出来る限り保護者の方と話す機会を作っている。保護者にアンケートの実施。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0	事業所の会報やホームページ等で公開されているのでホームページをごまめに見るようにします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	月に一度の研修で障害や就学について学ぶことが出来る。たくさん研修・学習の場を作ってもらっている。新人研修(わか1年目)・2年目研修・職員に対してのTEACCH(ディーチ)トレーニング等を定期的に行っている。外部研修(視覚支援)・保育雑誌の拝読(発達支援について自己研鑽)パートの方も勤務内に研修を設けて職員の資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	各クラス情報共有しリハとのカンファも定期的に行い、日程設定をしている。1人ひとりにあった支援計画がなされている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	アセスメントをクラス全体で行い意見や今の状況などを共有したり、話し合いをおこない個別支援計画書の作成に繋げている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	アセスメントシートを定期的に確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	適切な支援のために設定出来ている。内容に沿った個別支援計画を考えている。ご家族にもわかりやすいように記入している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	毎朝活動の流れなど、職員全員で話しあっている。行いたい活動を話し合っ決めていく。朝、夕のミーティングで、クラス内で情報共有しながら取り組んでいる。職員同士が話し合い、子ども1人ひとりに合わせた活動を提案したり、良い悪いの意見を話し合う。月案をチームで作成、展開などもチームで案を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	曜日で活動に偏りがないようになっている。朝、夕のミーティングで、クラス内で情報共有しながら取り組んでいる。ネットで調べたり新しい活動を取り入れている。振り返りを活かし取り組んでいる。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	個々の成長に合わせての計画が出来ている。お友だちとのやりとりなど集団活動、個別に合わせた活動を組み合わせている。登園前にミーティングを行い確認している。ホワイトボード、タイマーなどの活用。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	毎日疑問点や不明点、注意するところなど確認して支援できるようにしている。毎日行い、ホワイトボードに書いていつでも見ることが出来る。毎朝各クラスみんなで打ち合わせし確認は取れている。職員の意見を聞き、取り入れたりみんなで話合ってきている。ミーティングの時間を確保し、丁寧な対応がされている。活動・給食・委員会など職員の配置を朝全体で共有することで、保育中に話し合う時間を要しない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	都度報告出来ている。どこが危なかったなど意見を出し合ってみて改善点を話したりしている。こども同士のトラブルがあったり活動の様子などを毎日話したり意見を出し合ったりしている。気づいたことなどノートに記入して共有し各自自由に発言できる環境作り。気になった・など都度聞くことができている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	支援の検証と共に反省点も見つけられている。同じ職員ではなく、全員が書くようにしているため、それぞれの視点で見ることが出来る。多部署の記録を読み、情報共有を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	ケースカンファレンスの開催。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	参画されている。モニタリングの参加や園訪問し、アドバイスをを行う等、意識的に計画しながら実践している。行い、その後全職員は的確に内容を伝達している。連絡をこまめにとり、担当者会議の実施。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	モニタリングの参加や園訪問し、アドバイスをを行う等、意識的に計画しながら実践している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	保護者や園に確認許可を行い見学に行く等、子どもの様子を見に行くことがある。交流の場を設けて充分なされている。モニタリングの参加や園訪問し、アドバイスをを行う等、意識的に計画しながら実践している。子どもたちが通う小学校や支援学校へサポートブックをお渡ししている。園への訪問見学・ありすへの訪問見学を実施。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	卒園後も保護者の希望に応じて学校へのアドバイス等を行っている。学校の先生にきていただき情報交換をしている。子どもたちが通う小学校や支援学校へサポートブックを作成しお渡ししている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	3	他の機関からのアドバイスの機会はあってもいいのではないかなと思う。11月に市の児童発達支援事業所交流運動会の実施。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	3	月に1回～2回交流保育の機会を設けている。しっかり出来ている。交流保育の取り組み、可能であれば、ありすすと幼稚園などと交流する機会が持てばいいのでは。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	日々の様子や発達の状況はしっかり伝えている。連絡帳でのやり取りや、定期的な面談の実施。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	保護者がペアトレ出来るようになってきている。今年度は、月1回の保護者のお話し会、年2回グループのペアトレを実施。ご家族が参加しやすいように日程や内容などのアンケートの実施を行った。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	保護者が理解し納得されるまで丁寧な説明。保護者と面談を行い、環境や取り組みの説明し、同意を得ている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	面談の場もあり、適切な保護者支援もできている。保護者から相談や子どもの気になる点などあったら、都度声かけしあっている。家族支援1の対面での相談を比較的行っていると思う。悩みを聞く際、時間を取り1対1でゆっくりと話せる時間や環境を作っている。お話し会、面談の実施。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	3	お話し会の実施。保護者同士の連携は分かりません。お話し会は行っているが、交流の場を作るのは課題。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	何度話しが出来る場を設けてある。すべての悩みに対応できるように、1人1人が日頃から研修を受けたりそれを現場で活かしていきけるようにしたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	月案やおたより帳のやり取りはしているが園だよりはプライバシーの問題で行っていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	個人情報になるものは必ずシュレッダーにて破棄している。デリケートな保護者もいらっやるので、言葉の使い方には配慮されている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	5	卒園式などに地域の民生委員さんなど招待している。外部よりコンサートに來訪いただけるようになった。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	感染症に関しては保護者にも周知し、ご協力をお願いしているが、防犯や緊急時マニュアルは職員のみ周知しているため、今後は保護者への周知もしていく。朝礼時や連絡帳などで報告あり。避難訓練の実施。保護者の連絡帳で伝達している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	定期的に職員と子どもたちによる防災訓練（火災・地震）を行っている。毎月防災訓練は行っているが、保護者への周知は低い。アンケート結果にも「分からない」も見られた。月案配布時や送迎時、連絡帳を活用し訓練時の様子や、実施日の周知を図る。マニュアルや職員の周知徹底を心がけている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	個人健康調査表を使って、保護者から情報をいただいている。日頃の健康状態として平熱など一覽表の作成。職員は担当の子どもたちの状況を確認するようにしている。朝礼時確認を取っている。各部屋や来所日は毎回確認している。内服は、毎日確認を行わなくなったときはご家族に持参してもらおうようにしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	毎回登園の際、マニュアル確認を行う。除去食の提供。保護者にアレルギー調査票への記入をお願いし、また個別に聞き取りを行い、医師の指示書に基づく対応を行っている。緊急時のマニュアルもつくり、外来看護師との連携をとっている。アレルギー除去食の提供・相互確認をしている。対応できている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	防犯や緊急時マニュアルは職員のみ周知しているため、今後は保護者への周知もしていく。朝礼時や連絡帳などで報告あり。避難訓練の実施。保護者の連絡帳で伝達している。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1	月案配布時や送迎時、連絡帳を活用し訓練時の様子や、実施日の周知を図る。マニュアルや職員の周知徹底を心がけている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	委員会後には全員確認後サインしている。報告書を事務所の棚にまとめてファイリングしている。報告書が出た際は、迅速に職員間で共有できるように現場検証を行い振り返り（報告・連絡）の場所を設けるようにする。共有できている。ヒヤリハットがあった際には、その日にクラス全体で共有し、今後の課題を話している。ヒヤリハット作成時、写真撮影を行い情報共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	施設の研修会に出席するとともに、あいつす内で起こりそうな事例を挙げながら勉強会・研修をおこなっていきたいと考える。研修・会議などで対応。ナーシングスキルの視聴。お互い注意しあえる環境づくり。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	基本的に身体拘束はしません。に全員に承諾を得ている。身体拘束をする場合は、（ヘッドギア）丁寧な説明を行い承諾を得ている。子ども・保護者に面談時に説明を行う。やむを得ず行う場合も、日々記録に残し他の案を検討。	